

朝来市景況調査書

令和4年度 第3四半期

(調査対象：令和4年10月～12月)

朝来市商工会

令和5年2月

【目次】

1. 景況調査について	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）	4
3. 業種ごとの集計	4
①建設業（有効調査書数：34件）	5
②製造業（有効調査書数：39件）	7
③小売業（有効調査書数：48件）	10
④サービス業（有効調査書数：71件（内、飲食店：15件、宿泊業6件））	13
（参考文献）	19

I. 景況調査

1. 景況調査について

○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げることを目的とします。

○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報を比較して調査書を作成します。

○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、
「良い」20% - 「悪い」30% = ▲10%
となり、D. I. 値は▲10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10件	20%
不変	25件	50%
悪い	15件	30%
合計	50件	100%

○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

(対象期間(R4. 10~12月)における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	284	430	111	110
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	106	89	86	167
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	34	39	48	71

○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて集計しています。

◆令和3年度調査からの変更点◆

<①実施時期について>

令和2年まで、朝来市内の景況調査は1年間に「上期(1月～3月)」、「下期(7月～9月)」の計2回実施しておりましたが、令和3年度より四半期ごとに実施いたします。

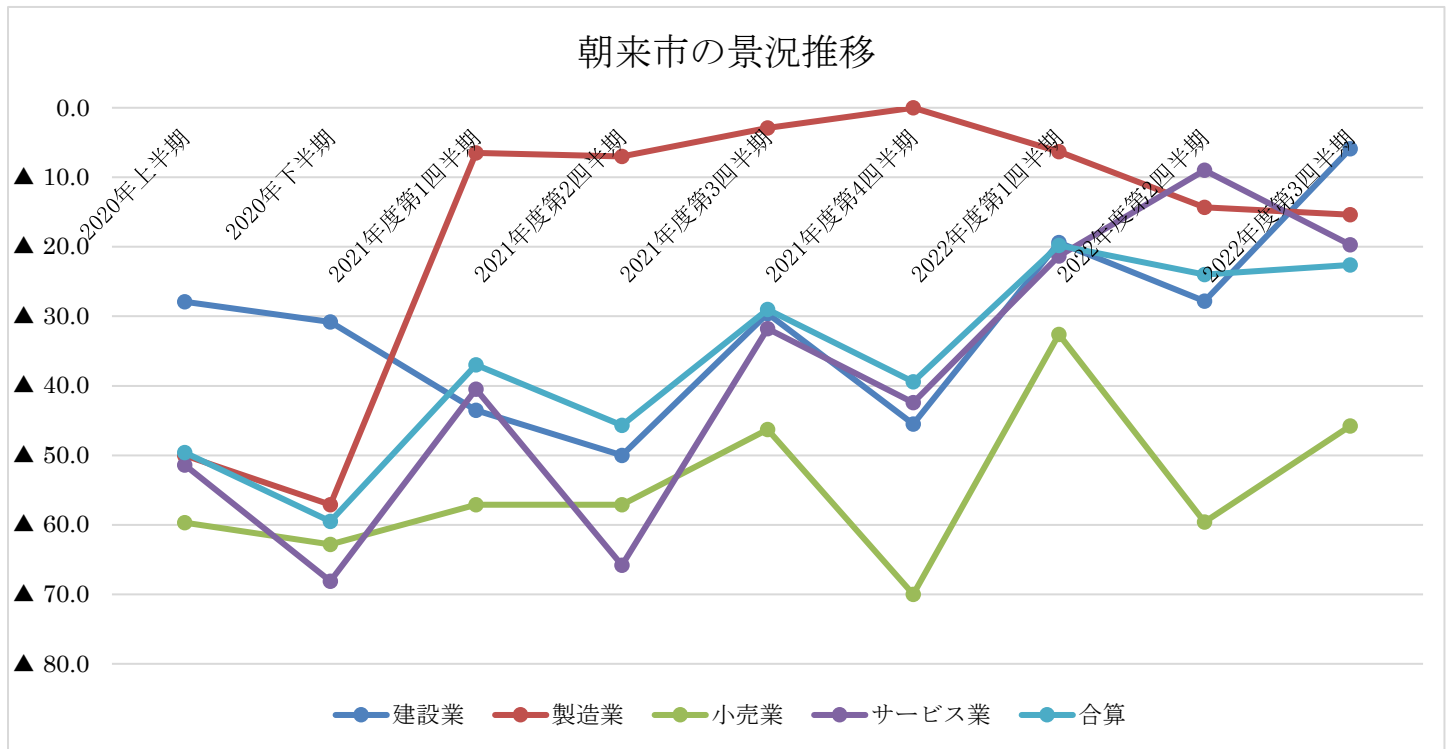
<②サービス業の区分>

今年度よりサービス業全体に加えて、「飲食店のみ」、「宿泊業のみ」のD.I.値も計算しております。詳しくは「サービス業」の調査結果ページにてご確認ください。

<③部門ごとのD.I.値>

製造業、卸売・小売業についてもサービス業と同様、複数回答を得られた業種から、細かく分類しD.I.値を掲載しています。

2. 朝来市の景況推移



	2021年度 第2四半期 (R3.7~9月)	2021年度 第3四半期 (R3.10~12月)	2021年度 第4四半期 (R4.1~3月)	2022年度 第1四半期 (R4.4~6月)	2022年度 第2四半期 (R4.7~9月)	2022年度 第3四半期 (R4.10~12月)
建設業	▲50.0 (22件)	▲29.6 (27件)	▲45.5 (22件)	▲19.5 (36件)	▲27.8 (36件)	▲5.8 (34件)
製造業	▲7.0 (43件)	▲2.9 (35件)	0.0 (39件)	▲6.8 (48件)	▲14.3 (49件)	▲15.4 (39件)
小売業	▲57.1 (52件)	▲46.3 (41件)	▲70.0 (40件)	▲32.6 (43件)	▲59.6 (42件)	▲45.8 (48件)
サービス業	▲65.8 (74件)	▲31.8 (66件)	▲42.4 (59件)	▲21.4 (75件)	▲9.0 (77件)	▲19.7 (71件)
合算	▲45.7 (191件)	▲29.0 (169件)	▲39.4 (160件)	▲19.8 (202件)	▲24.0 (204件)	▲22.6 (192件)

(※回答数 199 件、うち業況未回答 7 件)

直近 6 回の調査における「業況 (自業種の景気動向)」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値は D. I. 値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

令和 4 年 10 月～12 月は建設業、小売業が上昇を見せ、サービス業は若干の減少を見せました。

3. 業種ごとの集計

①建設業（有効調査書数：34件）

○昨年(10月～12月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(1件未回答)

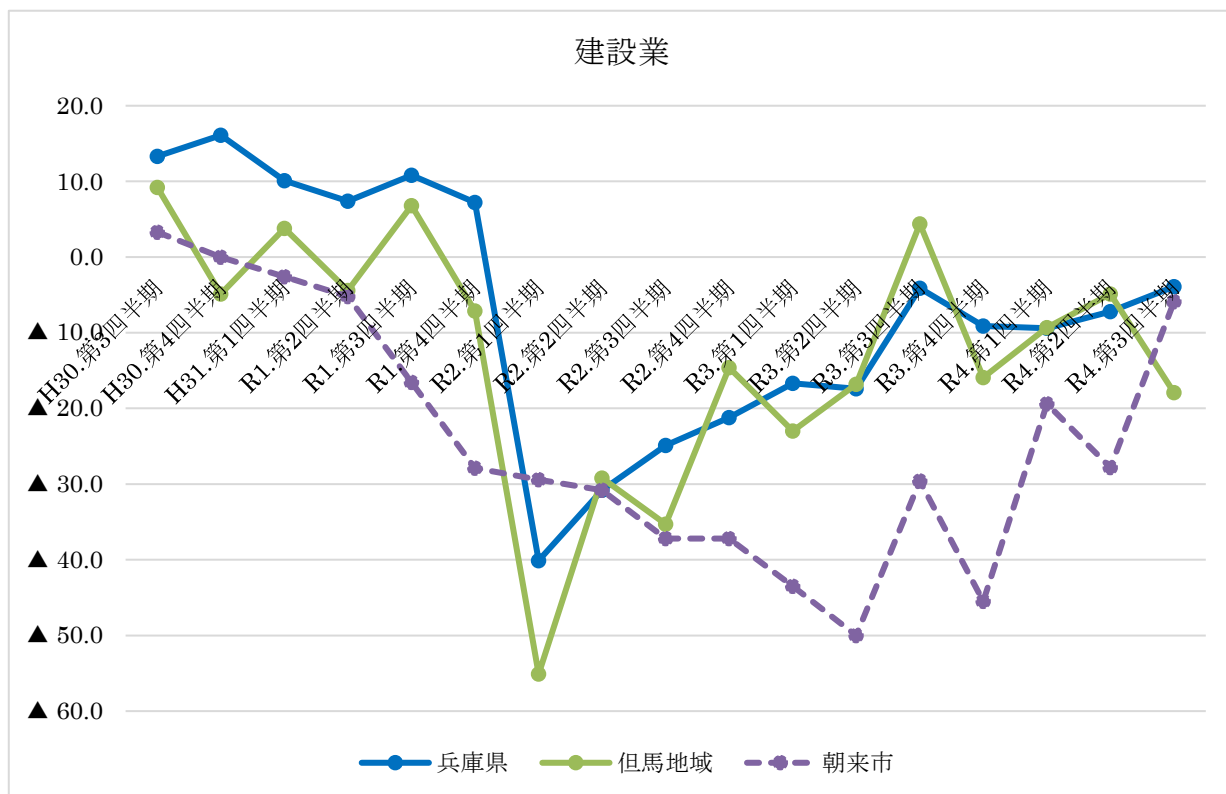
	件数	構成比
好転	4件	11.8%
不変	24件	70.6%
悪化	6件	17.6%

「不変」と回答した事業所が多くなり、D.I. 値も改善を見せました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲3.9ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲17.9ポイント
朝来市	▲5.8ポイント

全地域でD.I. 値はマイナス値ですが、朝来市内が但馬地域全体を上回っています。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

兵庫県全域、朝来市のD.I. 値は上昇しており、朝来市の数値がR2年度第2四半期(7月～9月)ぶりに上回っています。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2021 年度第 4 四半期	2022 年度第 1 四半期	2022 年度第 2 四半期	2022 年度第 3 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難
3 位	人件費以外の経費の増加	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	人件費以外の経費の増加

2021 年度第 4 四半期（R4.1～R4.3）の調査から 4 期連続で「材料仕入れ単価の上昇」が最も多い経営課題となっており、3 位に「人件費以外の経費の増加」が入っていることから、引き続き原油高騰、物価高騰の影響が大きく表れています。2 位の従業員確保難も、引き続き多くの事業所が回答しています。

○経営状況や今後の方針について（建設業－朝来市）

創業 5 年未満	1 件
売上・事業拡大	15 件
現状維持	17 件
事業承継への取り組み	5 件
廃業を検討	1 件

※複数回答あり

・廃業を検討（1 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0 件
事業譲渡なども、全く考えていない	0 件

※未回答

②製造業（有効調査書数：39件）

○昨年(10月～12月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(3件未回答)

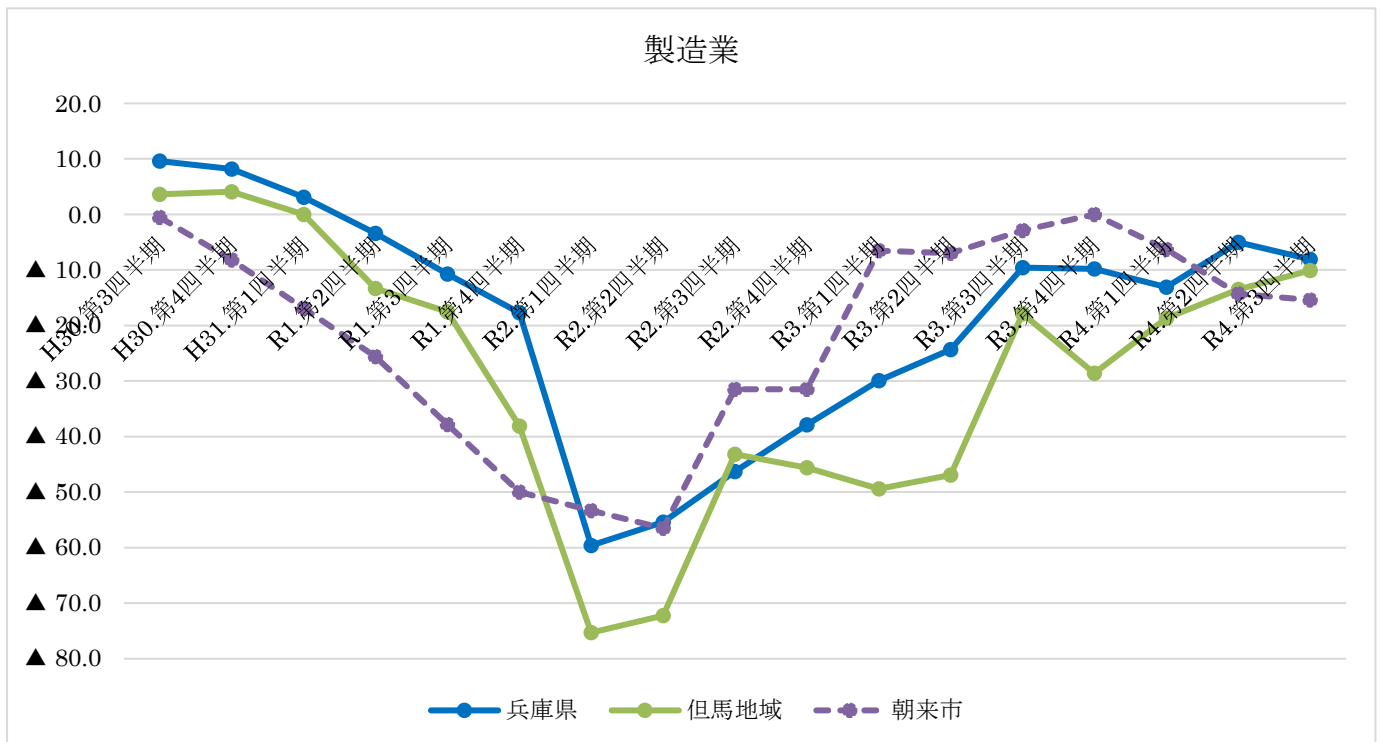
	件数	構成比
好転	9件	23.1%
不変	15件	38.5%
悪化	15件	38.5%

好転と回答した企業が減り、前回調査(R4.7～9)と比較しD.I値は若干低下いたしました。

地域	D.I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲8.1ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲10.1ポイント
朝来市	▲15.4ポイント

数値の差は大きくありませんが、但馬地域は改善、兵庫県全域と朝来市は減少の結果となりました。

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

今回調査の4業種の中で最も地域差が小さく、第2四半期のD.I.値と比較しても大きな差はみられていない傾向です。

○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2021 年度第 4 四半期	2022 年度第 1 四半期	2022 年度第 2 四半期	2022 年度第 3 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	従業員の確保難	従業員の確保難	人件費以外の経費の増加	人件費以外の経費の増加
3 位	人件費以外の経費の増加	人件費以外の経費の増加	店舗施設の老朽化	従業員の確保難

建設業同様に「材料仕入単価の上昇」が最も回答数が多くなっており、上記表外の R3 年度第 3 四半期も含め連続で上がっています。「人件費以外の経費の増加」が引き続き 2 位に上がり、原油高騰、物価高騰の影響が続いています。従業員の確保といった、人員目でも課題が見えます。

○経営状況や今後の方針について（製造業－朝来市）

創業 5 年未満	1 件
売上・事業拡大	18 件
現状維持	16 件
事業承継への取り組み	10 件
廃業を検討	4 件

※複数回答あり

・廃業を検討（4 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	1 件
事業譲渡なども、全く考えていない	3 件

○製造業種ごとの D. I. 値について

※複数回答を頂けた業種を 3 件掲載します。

・ 金属製品に関する製造業（金属製品、金属加工、部品製造など）

	件数	構成比
好転	5 件	35.7%
不変	4 件	28.6%
悪化	5 件	35.7%
D. I. 値	—	0.0 ポイント

・ 食品関連の製造業（食料品、飲料、調味料など）

	件数	構成比
好転	3 件	33.3%
不変	5 件	55.6%
悪化	1 件	11.1%
D. I. 値	—	22.2 ポイント

・ 繊維製品製造業（縫製、紙器、印刷業など）

	件数	構成比
好転	0 件	—
不変	1 件	16.7%
悪化	5 件	83.3%
D. I. 値	—	▲28.6 ポイント

製造業の中でも、複数回答を頂けた業種の D. I. 値を算出いたしました。繊維製品製造業がマイナスを示す一方で、金属・機器関係の製造業と食品関係の製造業は D. I. 値改善となりました。

③小売業（有効調査書数：48件）

○昨年(10月～12月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(1件未回答)

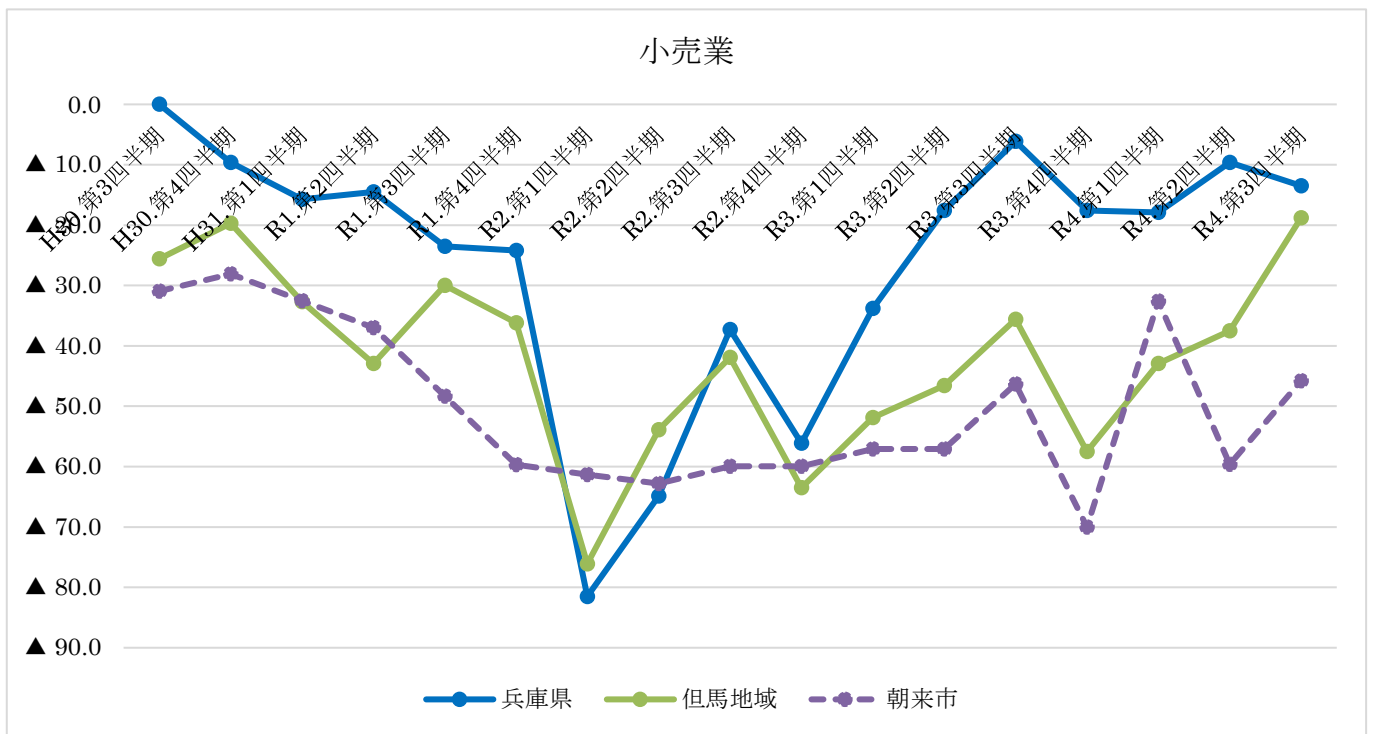
	件数	構成比
好転	5件	10.4%
不変	16件	33.3%
悪化	27件	56.3%

D. I. は調査した 4 業種の中で最も低くなっていますが、前回調査より改善しています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲13.5ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲18.8ポイント
朝来市	▲45.9ポイント

朝来市景況調査では小売業が最も低い数値を示しており、兵庫県全域、但馬地域でも同様です。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

但馬地域、朝来市内は上昇し、県全域のみ減少を見せています。朝来市内のD. I. 値は前年同時期(R3年度10月～12月)を若干上回っています。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2021 年度第 4 四半期	2022 年度第 1 四半期	2022 年度第 2 四半期	2022 年度第 3 四半期
1 位	需要の停滞	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	人件費以外の経費の増加	利用者ニーズの変化への対応
3 位	材料等仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	需要の停滞

「材料仕入単価の上昇」が引き続き、最も多い回答となりました。仕入単価だけでなく、利用者ニーズの変化への対応や需要の停滞も上位に入っており、業界を取り巻く状況への対応が求められています。

○経営状況や今後の方針について（小売業－朝来市）

創業 5 年未満	3 件
売上・事業拡大	15 件
現状維持	24 件
事業承継への取り組み	10 件
廃業を検討	6 件

※複数回答あり

・廃業を検討（6 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	1 件
事業譲渡なども、全く考えていない	4 件

※1 件未回答

○小売・卸売業種ごとのD.I.値について

※複数回答を頂いた業種を2件掲載します。

・織物・衣服・化粧品・身の回りの品、などの小売業

	件数	構成比
好転	1件	7.7%
不変	4件	30.8%
悪化	8件	61.5%
D.I.値	—	▲53.8ポイント

・飲食料品に係る小売・卸売業

	件数	構成比
好転	1件	10.0%
不変	3件	30.0%
悪化	6件	60.0%
D.I.値	—	▲50.0ポイント

小売業全体のD.I.値は改善しましたが、「織物・衣服・身の回りの品、などの小売業」「飲食料品にかかる小売業、卸売業」ともに好転と回答した企業が少なく、厳しい状況が続いているとみられます。

また少数の回答ですが、他小売業は以下の通りとなっています。

- ・写真機・時計・眼鏡小売業…「不変」1件、「悪化」2件
- ・ガソリンスタンド、燃料小売業…「好転」1件、「不変」1件

④サービス業（有効調査書数：71件）

○昨年（10～12月）と比較して、今期の業況はいかがですか？（2件未回答）

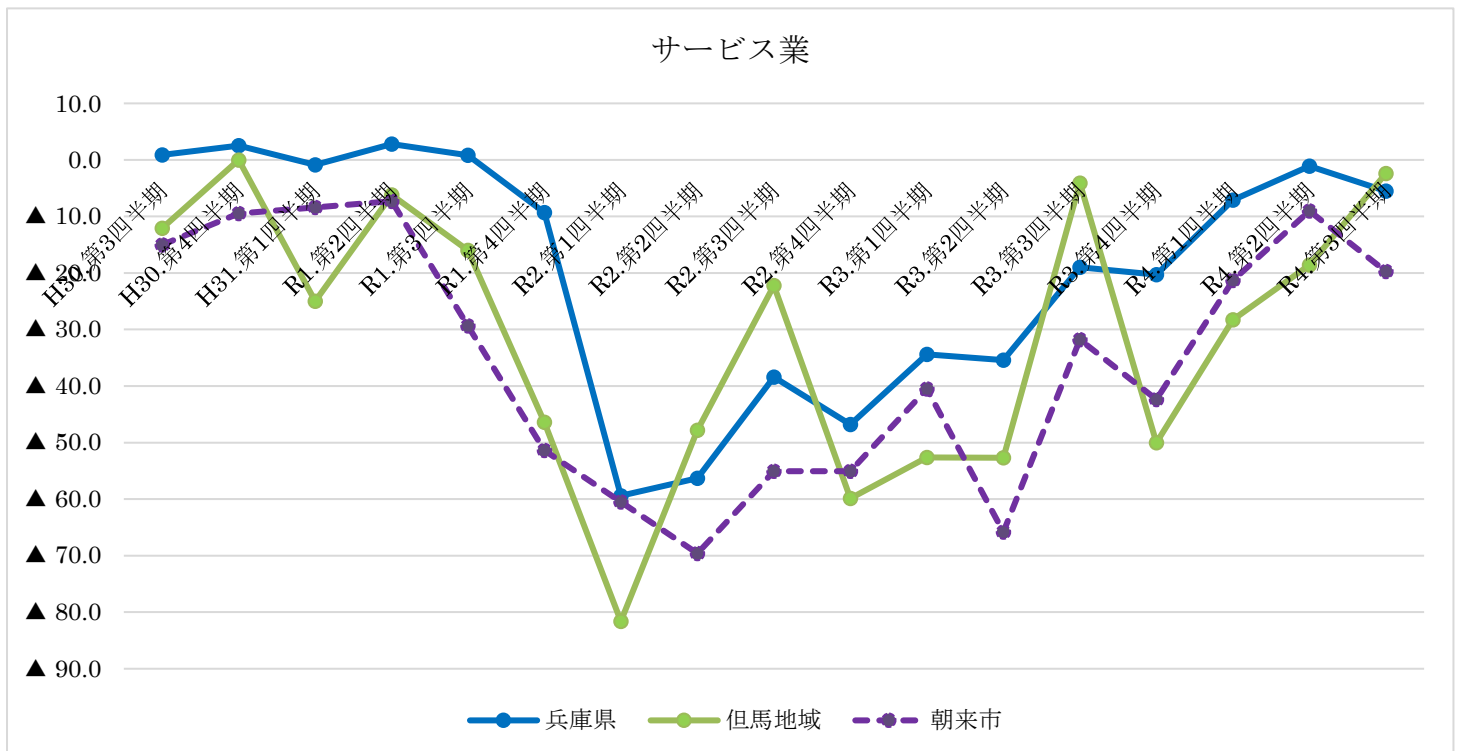
	件数	構成比
好転	12件	16.9%
不変	33件	46.5%
悪化	26件	36.6%

「悪化」と回答した事業所が前回調査より増加し、D.I. 値は減少を見せています。

地域	D. I.
兵庫県 （みなと銀行）	▲5.5ポイント
但馬地域 （但馬信用金庫）	▲2.4ポイント
朝来市	▲19.7ポイント

但馬地域が最も高いD.I. 値を示しており、前回調査と異なった結果となりました。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期（9～12月）、R3年1期（1～3月）の調査未実施のため、中間点を計上

前回調査まで全域において連続してD.I.値が上昇しておりましたが、兵庫県全域、朝来市内は減少となりました。但馬地域が唯一上昇し、今回の調査では最も高いD.I.値を示しています。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2021 年度第 4 四半期	2022 年度第 1 四半期	2022 年度第 2 四半期	2022 年度第 3 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	利用者ニーズの変化への対応	利用者ニーズの変化への対応	店舗施設の老朽化	人件費以外の経費の増加
3 位	人件費以外の経費の増加	店舗施設の老朽化	人件費以外の経費の増加	店舗施設の老朽化

「材料仕入単価の上昇」が 4 期連続で最も多い回答となりました。「人件費以外の経費の増加」も 2 番目に入っており、他業種と同様に原油価格高騰および、それに付随する材料費高騰の影響を受けています。

○経営状況や今後の方針について（サービス業－朝来市）

創業 5 年未満	5 件
売上・事業拡大	15 件
現状維持	40 件
事業承継への取り組み	13 件
廃業を検討	6 件

※複数回答あり

・廃業を検討（6 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	1 件
事業譲渡なども、全く考えていない	5 件

○サービス業種ごとの D. I. 値について

※飲食店、宿泊業、また複数回答を頂けた業種を 2 件掲載します。

・飲食店

	件数	構成比
好転	2 件	14.3%
不変	8 件	57.1%
悪化	4 件	28.6%
D. I. 値	—	▲14.3 ポイント

・宿泊業

	件数	構成比
好転	3 件	50.0%
不変	2 件	33.3%
悪化	1 件	16.7%
D. I. 値	—	0.0 ポイント

・洗濯・理容・美容・浴場業

	件数	構成比
好転	2 件	16.7%
不変	3 件	25.0%
悪化	7 件	58.3%
D. I. 値	—	▲41.7 ポイント

・自動車整備サービス、運送業など

	件数	構成比
好転	2 件	21.4%
不変	10 件	28.6%
悪化	3 件	50.0%
D. I. 値	—	▲28.6 ポイント

宿泊業は前回と同様の数値となりましたが、他の業種では前回調査より D. I. 値が減少を見せています。特に自動車整備業・運送業といった車両に係る業種は前回調査の D. I. 値はプラスでしたが、今回は大きく減少しています。

(参考) 全データの集計

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	0	0	0	0	0
30代	1	1	1	1	4
40代	8	9	4	10	31
50代	11	8	13	23	55
60代	11	13	11	23	58
70代以上	4	11	20	16	51

○朝来市商工会に望むことについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
経営全般への相談	4	4	6	10	24
補助金・助成金の相談	23	18	23	33	97
各種認定について	7	1	2	9	19
IT化について	7	0	6	6	19
税務・労務について	10	7	4	11	32
特に相談等無し	8	18	13	22	61

○経営状況や今後の方針について教えてください

(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	1	1	3	5	10
売上・事業拡大	15	18	15	15	63
現状維持	17	16	24	40	97
事業承継への取り組み	5	10	10	13	38
廃業検討	1	4	6	6	17

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	0	1	1	1	3
事業譲渡なども、全く考えていない	0	3	4	5	12

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	6	9	15	30	60
1人～5人	15	10	21	24	70
6人～10人	4	4	6	6	20
11人～20人	4	4	3	5	16
21人以上	5	12	2	2	21
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	18	16	12	11	57
適正人数である	12	13	20	29	74
雇い入れが過剰である	0	0	0	0	0
雇用していない・しない	4	9	13	27	53
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	0	0	0

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	14	11	19	29	73
1人～5人	15	17	17	31	80
6人～10人	0	4	2	2	8
11人～20人	1	6	5	3	15
21人以上	0	1	0	1	2
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	6	8	7	10	31
適正人数である	16	21	19	33	89
雇い入れが過剰である	0	0	2	0	2
雇用していない・しない	8	9	14	22	53
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	0	0	0

○令和4年10～12月と前年同期(令和4年10～12月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	4	9	5	12	30
	同じ	24	15	16	33	88
	悪化	6	15	27	26	74
売上	増加	7	0	1	2	10
	同じ	18	2	0	14	34
	減少	9	2	2	4	17
販売価格	増加	11	0	0	0	11
	同じ	19	0	2	1	22
	減少	4	4	1	3	12
仕入価格	増加	3	0	0	0	3
	同じ	6	3	0	0	9
	減少	24	1	0	0	25
資金繰り	好転	1	0	0	0	1
	同じ	28	0	0	0	28
	悪化	5	1	0	0	6

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位3つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	1	0	4	2	7
新規参入業者の増加	2	1	4	8	15
利用者ニーズの変化への対応	7	5	21	16	49
店舗施設の老朽化	3	10	15	22	50
人件費の増加	6	12	4	7	29
人件費以外の経費の増加	14	15	16	23	68
利用料金の低下・上昇難	0	1	3	12	16
材料等仕入単価の上昇	22	31	28	35	116
金利負担の増加	0	2	1	1	4
事業資金の借入難	4	0	3	7	14
従業員の確保難	16	12	8	13	49
熟練技術者の確保難	10	8	1	5	24
需要の停滞	9	10	17	10	46
その他	2	1	8	11	22

(参考文献)

兵庫県内中小企業の景況調査／株式会社みなと銀行
但馬管内の景気動向調査／但馬信用金庫

「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

朝来市商工会

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：<http://www.asago.org/> メール：shokokai@asago.org